

高精度放射線治療支援システムの開発

有村秀孝

(九州大学大学院医学研究院保健学部門医用量子線科学分野准教授)

= 概要 =

放射線治療の目的（腫瘍領域にできるだけ多くの線量を投与し，正常組織領域には線量を可能な限り減らすこと）を達成するためには，腫瘍と正常組織（リスク臓器を含む）の位置（領域）を“コンピュータの目で見ること（画像工学）”が必要不可欠です．そこで，近年，放射線治療の各ステップ，つまり診察，治療計画，治療，経過観察で，画像工学が重要な役割を果たしています．本講演では，高精度放射線治療における画像工学の重要性と応用例（腫瘍領域抽出支援，治療計画支援，患者セットアップエラー支援など）を概説します．

がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
博士課程リーディングプログラム 共催

講演会

◆日時：平成25年3月29日（金）
17:00～18:30

◆場所：群馬大学重粒子線医学センター
カンファレンス室

= お問い合わせ先 =

群馬大学 重粒子線医学研究センター 猪爪(E-mail: inoino@gunma-u.ac.jp)
〒371-8511 群馬県前橋市昭和町3-39-22 TEL: 027-220-8378 FAX: 027-220-8379